

「子育てって未来？～当たり前は変わっていく～」

対象	乳幼児～中学生の保護者
方法	参加型ワークショップ
時間	45分程度（臨機応変に）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てが一段落した世代、現在子育て中の世代、将来親になるだろう世代の子育てに関する考え方を共有し、お互いの考え方や価値観を認め、思いやる心を育んでもらう。 ・子育てに関する考え方は、時代や社会状況によって大きく変化してきたが、その時代の「当たり前」を理解し否定することなく、世代間の差はあっても大切にしてきた思いがあることを理解する。 ・親だけでなく、祖父母や地域の方々へのサポートに支えられながら、安全に楽しく子育てをしてもらう。
進行のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で、ゆったり、参加者同士の会話を大切にしましょう。 ・「書きたくない、言いたくない時は無理をしないでくださいね」と言うておきましょう。 ・評価や否定をすることなく、参加者と同じ目線で寄り添いながら進めましょう。
事前準備	①「親のみちしるべ」 ②ペン・マジック ③付箋紙 ④模造紙 ⑤名札 ⑥アンケート

ワークショップの基本的な流れ

時間	段階	内容・参加者	形態	M→メインファシリテーター G→グループサポーター	留意点	備考
	受付	◇受付・グループの確認 ◇名札の作成（ニックネーム等）	一斉			
10分	導入	①親のみちしるべのプログラムについての説明 ◇親のみちしるべのルールについて理解する。 ②グループ内で自己紹介 ◇アイスブレイク	グループ	M◇笑顔であいさつ MG◇ファシリテーター等 紹介 M◇プログラムの趣旨説明 MG◇ルールの確認 MG◇グループで自己紹介 MG◇アイスブレイク	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気を作り、笑顔で対応する。 ・言葉が多くなり過ぎないようにする。 ・簡単なアイスブレイク実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等、資料の確認
30分	展開	③宮城県子育てサポーターアンケート読み上げ ◆宮城県内の子育てサポーターへのアンケート「どのように子育てをしてきたのかな？」を読み上げる。 ④グループワーク1 ◆現在子育てをしている中で、何を大切にしているか、またどんなことに悩んでいるか、意見を出し合う。 ⑤グループワーク2 ◆祖父母や地域の方々へのサポートしてもらって嬉しかったことや、これからしてもらいたいことなどを考えてみる。 ・質問項目に対し、自分の考え等を付箋紙に記入したり、話したりする。 ・グループ毎に出された意見を、全体で共有する。	グループ	M◇読み上げ【ポイント】 ◆皆さんが、悩みながらも子どもの成長を大切にし、自分の人生も頑張ってきた思いを共有する。 M◇ワーク1【ポイント】 ◆子育てに関する考え方でも、身近な小さなことでも、思いつくことを出してもらおう。祖父母との考え方の違いや、ちょっとしたトラブルなども引き出せると良い。 G◇見守り、体験などを紹介 M◇ワーク2【ポイント】 ◆世代差によって子育ての「当たり前」が変化している中でサポートしてもらうには、お互い情報交換し、相手の気持ちを大切にすることに気づけるようにする。 G◇グループワークの見守り。 必要に応じて声がけ。 M◇グループ毎に発表してもらおう。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章形式にこだわらず、箇条書きで良いことを伝える。 ・互いに多くの意見交換ができるように促す。 ・出された意見に共感しながら進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・付箋紙 ・ペンマジック <p>※模造紙</p>
5分	まとめ	⑥振り返り 将来親になるだろう中学生の妊婦疑似体験後のアンケートを読み上げる。 ・ファシリテーターのまとめの話を聞く。 ・アンケートの記入。	一斉	M◇中学生が、育ててもらっている親の思いを自然に理解し、感謝し、将来の自分の子どもにとって同じような親になりたいと感じていることが伺える。世代が違って、変わらない子どもへの思いがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の考えや意見に共感しながら簡単にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回収